

## 上朝比奈 当日 Q&A

Q：インフルエンザへの対応計画はあるのか。

A：市ではインフルエンザ対策行動計画を策定した。今後、公民館や町内会長に配布し説明していく。

Q：朝比奈、横舟地区は交通機関がない。車でしか動けない。池新田のように施設が整備されている地区と同率の福祉タクシー券配布では不公平。年齢を重ねると車に乗れなくなる。車のない世帯には多くほしい。それがきめ細かな対応ではないか。

A：これから本当に福祉タクシー券が必要な家庭かどうかを調査していく。その中で、参考意見として取り上げさせてもらう。本当に困っている人に上手に使ってもらえるような仕組みにしていきたい。

Q：御前崎市立病院に認知症の専門医、診療科を配置してほしい。

A：診療科の新設は厳しい。病院と病院の連携などで対処している状態。今後も医師確保に力を注いでいく。

Q：障害者で1人世帯の人が入れるようなグループホームやケアホーム施設を建ててほしい。市営住宅の一部を開放したらどうか。

A：市内にも施設があるが、対応しきれていない状態。市営住宅も浜岡地区は満室。御前崎地区は老朽化が進んでおり困難。よりよい方法を研究していく。

Q：災害時、持病の薬の確保が難しい。また、高齢者は、自分の飲んでいる薬の名前が分からない。対応はどうするのか。

A：全力で救済する。薬は配布してある薬手帳を持っていてほしい。

Q：中山静枝さんがあらさわふる里公園の温泉のために寄付してくれた計画は進んでいるのか。朝比奈が活性化するような取り組みを望む。

A：中山さんから、当初は福祉と朝比奈のために役立ててほしいと5,000万円の寄付を、一般財源へいただいた。その後、温泉を掘るのに使ってほしいと目的が変わった。温泉を掘るには寄付金のほかに1億円近くかかる上、維持管理費用もかかってくる。将来にわたって市が負担を強いられることになるため寄付金を返却した。掘ったら足湯だけでいいのかなどさまざまな問題がある。議会の同意も必要で足踏みしている状態。現段階では、厳しい。

Q：自主運行バスの規模を小さくしたらどうか。各地区の公民館へワゴン車を置き、地区の人が集まったら、まとまって職員や地区の人が運転していくというのはどうか。

A：現在コミュニティバスは検討している状態。検討課題の中で参考にさせていただく。

Q：地震でファームポンドが被害にあった。40万円以上の場合は補助が出ると

いう話だった。それ以下の場合でも特例で補助してもらえないか。

A：国営や県営という形の中で、検討する。

Q：横舟の奥にいくと道に木が出ている。切ってくれないか。

A：市有地の場合は要望書ですぐに対処するが民地は所有者で対応してほしい。

Q：地震が発生すれば、ライフラインがストップすることが予想される。市では  
どういう対策を考えているか。

A：水は各地区にある飲料水兼用貯水槽を使ってもらえば3日は持つ。また、港  
を利用し、自衛隊から水の補給も可能。問題は道。道路が寸断されれば運  
搬ができない。航空自衛隊の協力も得られ食料も準備できるが、これも問  
題は運搬。おそらくバイクで運ぶ。最低3日分だけは個人で備蓄しておい  
てほしい。

Q：市内の小中学校で、何人の子どもが携帯電話を持っているのか。

A：持っている人数は把握しきれていない。基本的には、携帯電話を持たせない  
ように指導している。

Q：新政権となり、各種交付金はどうなるか。

A：何ともいえない。

Q：河川の草刈りは町内会がボランティアでやっている。何とかならないか。

A：朝比奈川は2級河川で、県へ話をする。団体でやってもらえれば、市からも  
いくらか補助が出る。

Q：地震時の対応として、自主防などのマニュアルを作ってくれないか。

A：防災委員へ配布・報告する。